

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 人事課
 担当名: スマートステーション担当
 内線: 7735 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B4	スマートステーション運営費		一般会計	総務費	総務管理費	人事管理費	職員人事管理費	
事業期間	令和 4年度～	根拠法令	働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律 障害者の雇用の促進等に関する法律第38条		針路	07 誰もが活躍し共に生きる社会の実現	SDGsゴール	
					分野施策	0703 障害者の自立・生活支援	SDGsターゲット	
1 事業概要	スマートステーション「flat(フラット)」において、庁内の定型業務等を集約し、ICTの活用等により効率的に処理することで、生産性・創造性の向上を図り、「働き方改革」を推進する。		5 事業説明					
(1) スマートステーション運営費 契約差金及び節減による減 △10,837千円			(1) 事業内容 スマートステーション運営費 35,483千円 スマートステーション「flat(フラット)」において、庁内の定型業務等を集約し、ICTの活用・標準化・一括処理により処理することで効率化を図り、生産性・創造性を向上させ、「働き方改革」を推進する。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)			(2) 事業計画 令和2年度にグランドオープンしたスマートステーション「flat(フラット)」の継続的な運営により、令和4年度もICT等の活用によるより一層の「働き方改革」の推進に寄与する。					
3 地方財政措置の状況 なし			(3) 事業効果 県庁版働き方改革を推進し、職員一人一人が創造的な仕事に専念できる時間を確保することにより、その能力を最大限に発揮できる職場づくりを行い、県民サービスの向上を図る。 また、会計年度任用職員として障害者を雇用することで、障害者雇用の推進と庁内の障害者雇用の理解を深める。					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.0人=28,500千円			(4) 補正予算の概要 契約差金及び節減による消耗品費等の減額					
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△10,837						△10,837	24,646
現計額	35,483						35,483	

事業内訳書

事業名	スマートステーション運営費		
単位事業名	スマートステーション運営費	予算額	△ 10,837千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△25	—	執行留保等による旅費の減
需用費	△10,000	—	執行留保等による消耗品費の減
役務費	△355	—	執行留保等による郵送費の減
委託料	△457	—	障害者就労定着支援業務委託の減
合計	△10,837	—	